

福井県植物分布ノート (3)

若 杉 孝 生

(1) カモメラン (ラン科)

Galeorchis cyclochila Nevski

福井県と岐阜県の境に聳立する薙刀山とよもた郎山の中間に位する通称日岸山(1670 m)で採集された。カモメランは福井県周辺では加賀白山に記録があるが、日本では四国の一部、本州(和歌山県以北)、それに北海道の一部に知られており、日本海側には比較的少ない。深山の林縁にみられる地生ランで広楕円形の大きな葉は1個。花茎は10~15 cm位で茎の上部に淡紅紫色の花を2~3つけ、広い唇弁には一面に濃い紫点があつて美しい。1977年6月19日、郷土の登山家佐々木鷹次郎氏の採集になるもので本県では初記録である。

(2) ナガバノキソチドリ (ラン科)

Platanthera ophrydioides Fr. Schmidt var. *australis* Ohwi

敦賀黒河山で1973年5月27日に花のない株をとり、葉の細いことからキソチドリに同定しかねていたが、その後鉢植えのまま毎年花をつけ、1977年8月16日、生品で前川文夫博士に同定していただいた。ナガバノキソチドリは西日本にみられる一型で、キソチドリとは花が細かく、また葉も細く線状長楕円形であることから区別出来る。

<参 考 文 献>

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 前 川 文 夫 | 原色日本のラン(1971) |
| 正宗厳敬・里見信生 | 日本産蘭科植物分布図(五十六)(1975) |
| 北 村 四 郎 他 | 原色日本植物図鑑(下)(1964) |
| 奥 山 春 季 | 原色日本野外植物図譜(1)(1964) |
| 大 井 次三郎 | 日本植物誌(1975) |